

令和7年度 大阪府中学生チャレンジテスト結果について

東大阪市教育委員会 学校教育部 学校教育推進室

大阪府教育委員会が毎年度行っている大阪府中学生チャレンジテストの結果について、東大阪市立小中学校・義務教育学校の結果をお伝えします。(調査目的等の概要は P8に記載)

○今年度の結果概要

<教科>

中学校1年生(義務教育学校7年生)から中学校3年生(義務教育学校9年生)を対象に調査が行われました。本市全体の平均正答率は、いずれの学年・教科においても、大阪府平均には届きませんでした(表①)が、設問別の正答率でみると、国語の漢字や数学の計算など基礎的な知識・技能を問う問題では、大阪府平均に迫るものが見られました。同じ知識・技能の観点でも「資料の読み取り」において、複数の情報を判断したり関連付けたりする「概念的な知識・技能」に課題がみられました。また、複数の情報を整理・比較し、自分の考えを論理的に記述する「思考・判断・表現」の観点にも課題がみられました。

表①<平均正答率>

【中学校1年生】

	国語	数学	英語
東大阪市	58.7	50.7	58.6
大阪府	63.1	56.7	65.2

【中学校2年生】※社会 B については、選択した学校が少数のため、公表いたしません。

	国語	社会 A	数学	理科	英語
東大阪市	61.5	42.0	50.0	42.8	46.2
大阪府	64.5	44.3	55.0	46.7	51.8

【中学校3年生】※理科 A については、選択した学校が少数のため、公表いたしません。

	国語	社会	数学	理科 B	英語
東大阪市	61.4	48.3	49.7	43.8	48.0
大阪府	64.2	51.2	53.9	46.0	53.2

<アンケート>

「授業中、思考ツールを使うなどして、自分の考えを整理したりまとめたりする場面がある」の肯定的回答率や「授業中、PC・タブレットを使って、学級の友だちと意見を交換する場面はどれくらいありますか」において「ほぼ毎日」と回答した割合が大阪府全体よりも高く、「子ども主体の学び」への転換に向けて、授業スタイルが変化してきていることがうかがえます。

一方で、学習以外(ゲームや SNS 等)にスマートフォンやタブレットを使っている時間が大阪府全体よりも長い傾向がみられ、家庭での時間の使い方に課題がみられました。

<今後の取組み>

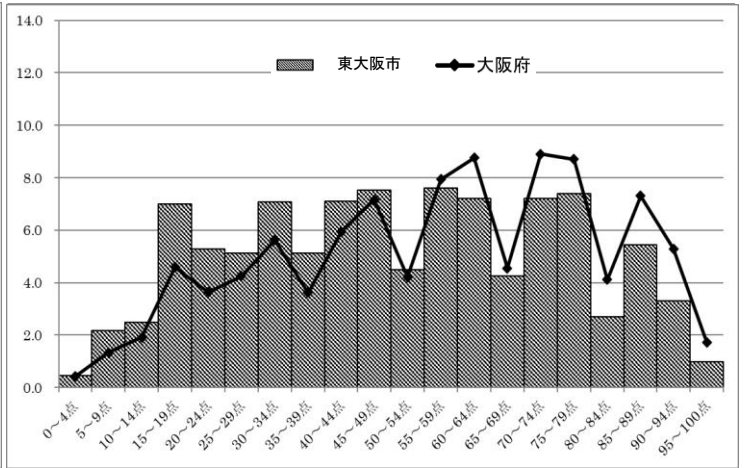
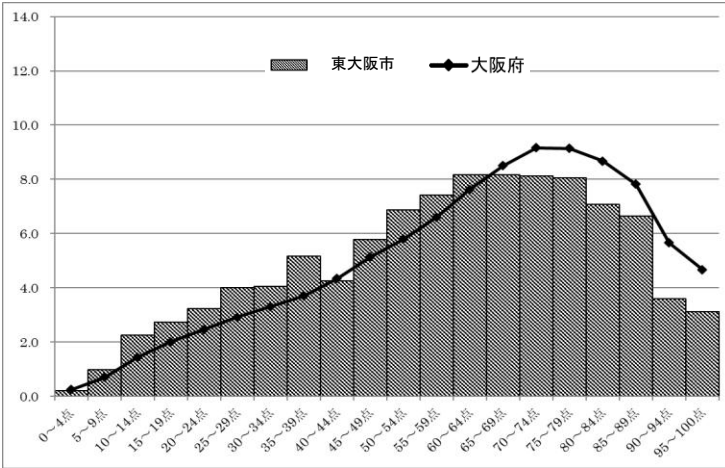
引き続き、「個別」「協働」「全体」の学習形態を、一人一台端末やクラウド環境、AIドリル(Qubena)等も活用しながら効果的に組み合わせ、子ども一人ひとりが主体的に学びを調整できる授業への転換を推進してまいります。

これにより、誰一人取り残されず、子どもたちの多様な個性を最大限生かす「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図ってまいります。

第1学年 国語 平均点【市】58.7点【府】63.1点

第1学年 数学 平均点【市】50.7点【府】56.7点

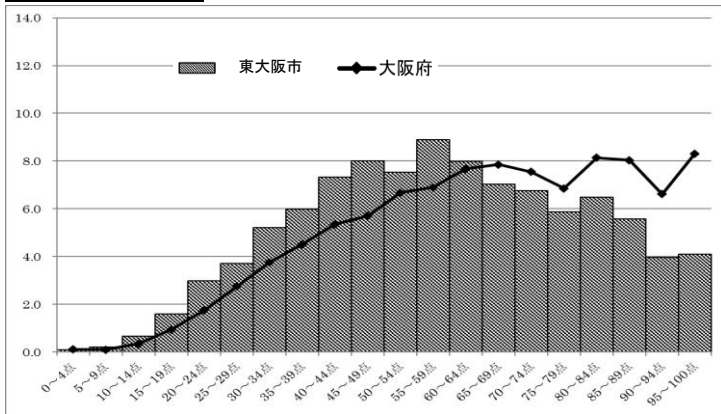
得点分布グラフ(横軸：得点、縦軸：割合)



分類	区分	対象設問数	配点	平均点		得点率(平均点/配点)		
				東大阪市	大阪府	東大阪市	大阪府	
全体		32	100	58.7	63.1	-	-	
学習指導要領の内容	知識及び技能	言葉の特徴や使いに関する事項	8	18	11.6	12.4	64.5	68.6
		情報の扱いに関する事項	6	21	11.7	12.7	55.9	60.5
		我が国の言語文化に関する事項	6	21	10.9	11.8	51.8	56.3
	思考力、判断力、表現力等	話すこと・聞くこと	4	15	8.1	8.8	53.7	58.4
		書くこと	8	27	15.0	16.3	55.5	60.2
		読むこと	10	34	20.0	21.4	58.7	63.0

分類	区分	対象設問数	配点	平均点		得点率(平均点/配点)	
				東大阪市	大阪府	東大阪市	大阪府
全体		33	100	50.7	56.7	-	-
学習指導要領の領域	数と式	16	49	24.8	27.8	50.7	56.8
	図形	6	18	8.9	10.2	49.3	56.4
	関数	11	33	17.0	18.7	51.6	56.7
	データの活用	-	-	-	-	-	-

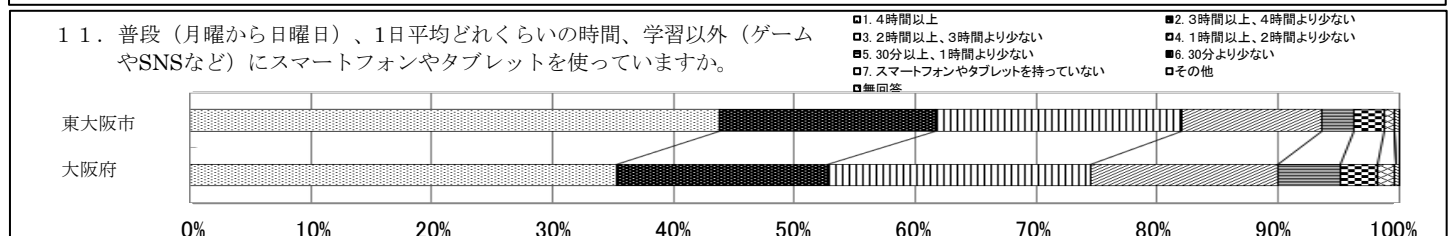
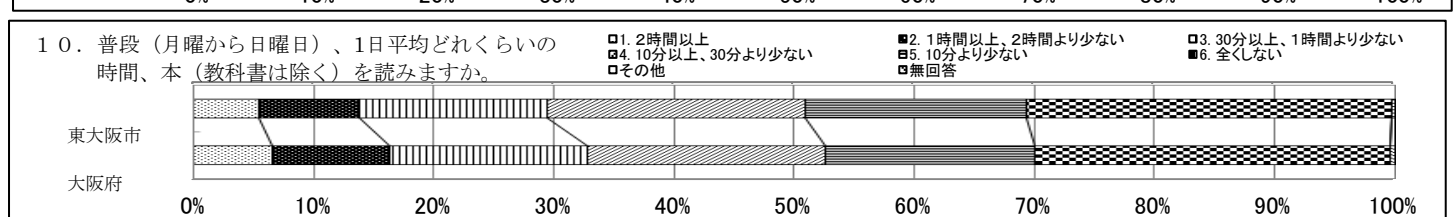
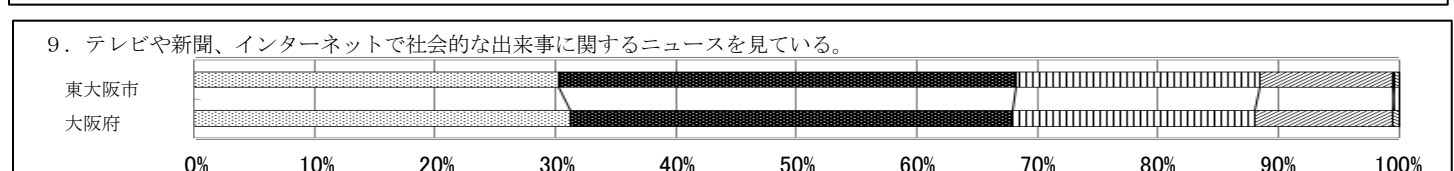
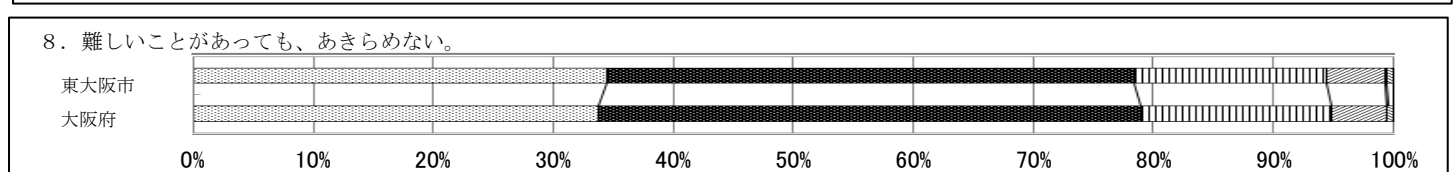
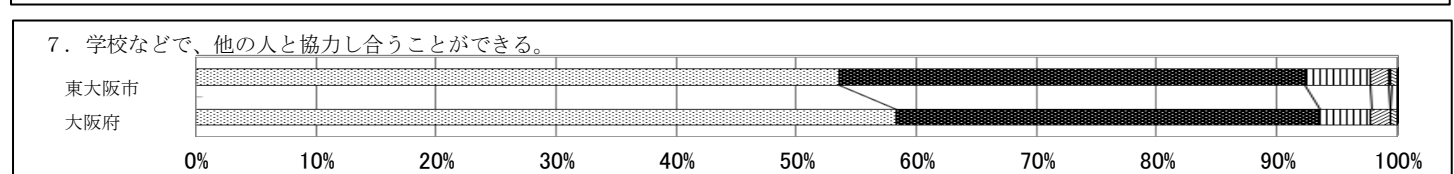
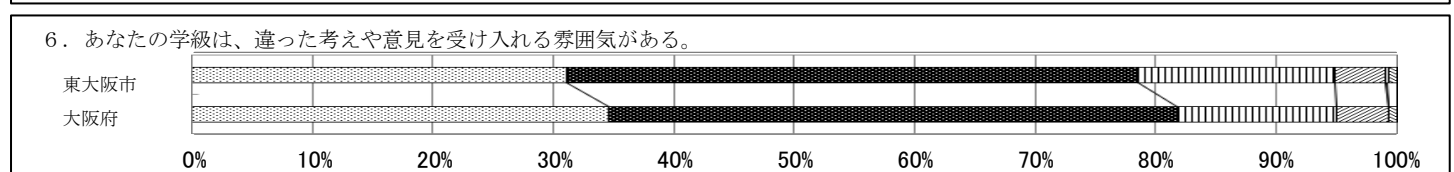
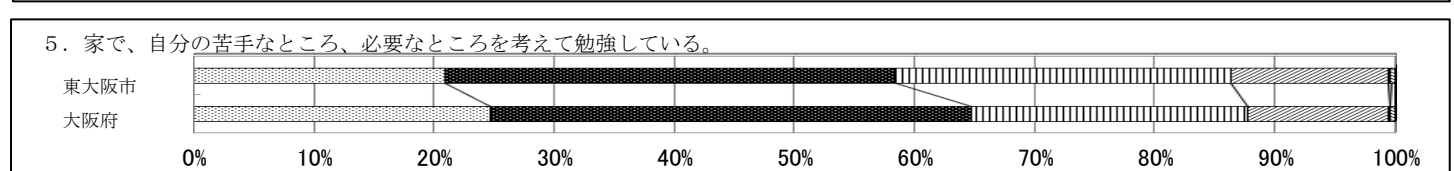
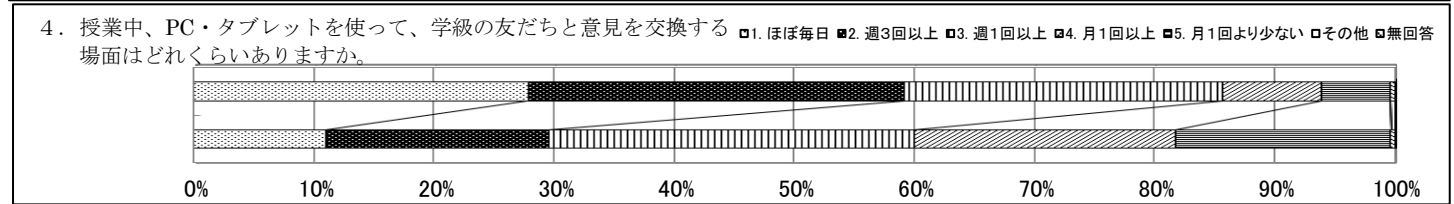
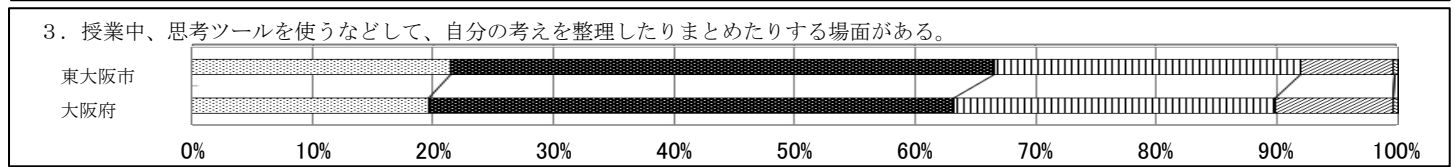
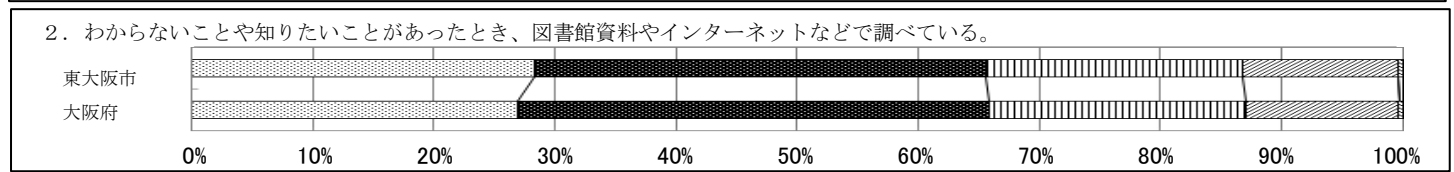
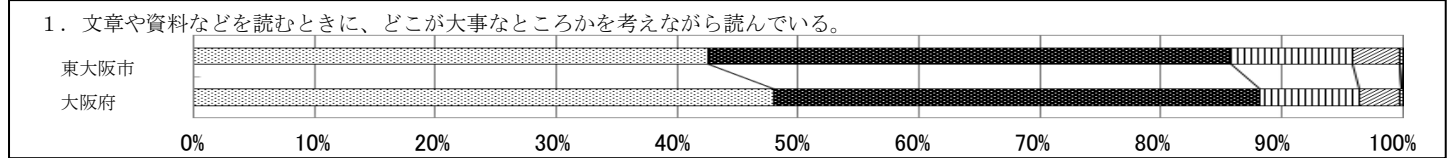
第1学年 英語 平均点【市】58.6点【府】65.2点



分類	区分	対象設問	配点	平均点		得点率(平均点/配点)	
				東大阪市	大阪府	東大阪市	大阪府
全体		39	100	58.6	65.2	-	-
学習指導要領の領域	聞くこと	15	32	23.2	24.6	72.5	77.0
	読むこと	15	41	22.4	25.3	54.6	61.6
	書くこと	9	27	13.0	15.3	48.3	56.6

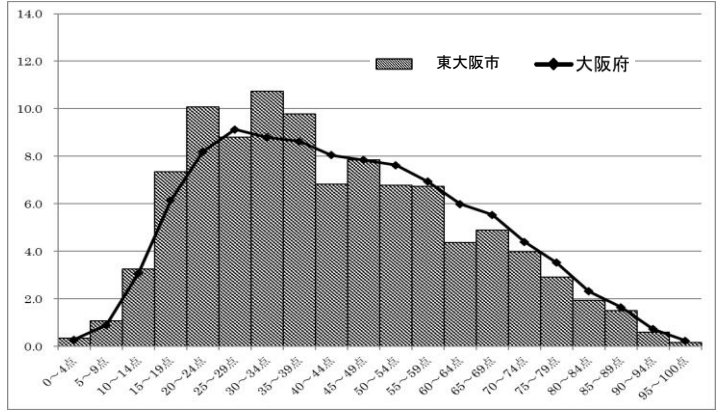
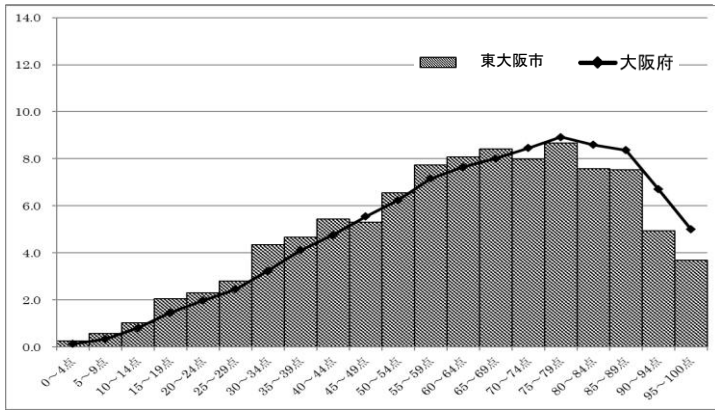
<中学校 1年生>

□1. 当てはまる ■2. どちらかといえば、当てはまる □3. どちらかといえば、当てはまらない □4. 当てはまらない □その他 □無回答



第2学年 国語 平均点【市】61.5点【府】64.5点

第2学年 社会 A 平均点【市】42.0点【府】44.3点

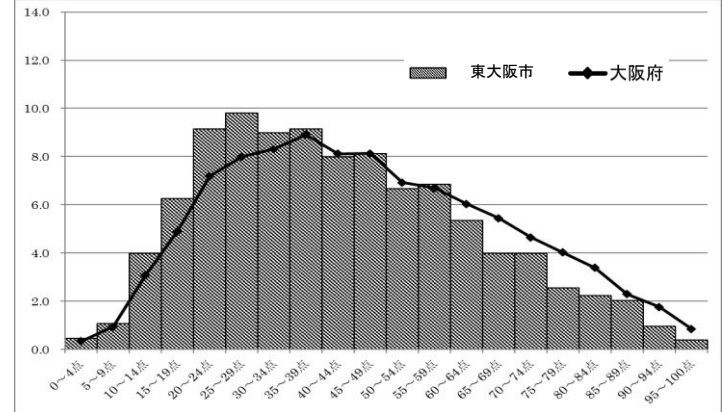
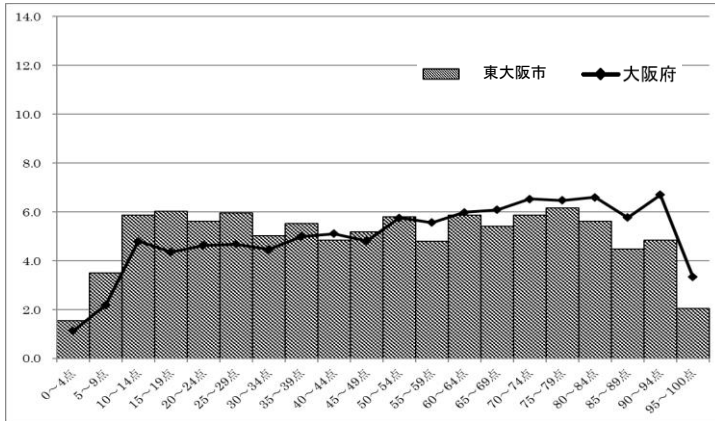


分類	区分	対象設問数	配点	平均点		得点率(平均点/配点)		
				東大阪市	大阪府	東大阪市	大阪府	
全体								
学習指導要領の内容	知識及び技能	言葉の特徴や使い方に関する事項	9	22	14.0	14.6	63.8	66.3
		情報の扱いに関する事項	3	12	6.7	7.1	55.7	59.5
		我が国の言語文化に関する事項	7	23	11.6	12.4	50.4	54.0
	思考力、判断力、表現力等	話すこと・聞くこと	5	19	11.0	11.6	57.8	60.9
		書くこと	5	19	13.0	13.5	68.4	71.2
		読むこと	10	34	20.4	21.4	59.9	62.9

分類	区分	対象設問数	配点	平均点		得点率(平均点/配点)	
				東大阪市	大阪府	東大阪市	大阪府
全体							
学習指導要領の領域	地理的分野	20	55	22.5	23.6	41.0	42.8
	歴史的分野	16	45	19.5	20.7	43.3	46.0

第2学年 数学 平均点【市】50.0点【府】55.0点

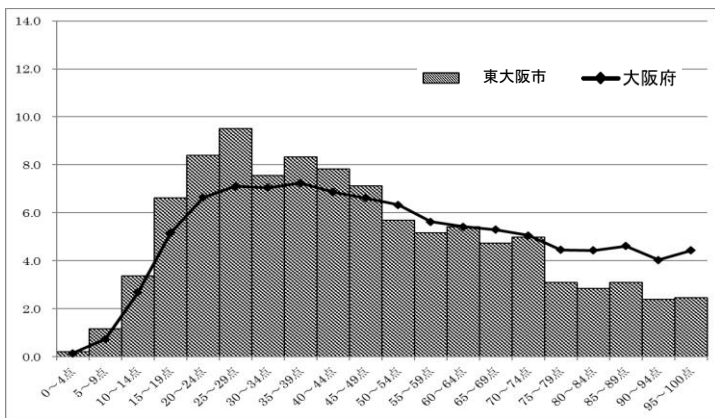
第2学年 理科 平均点【市】42.8点【府】46.7点



分類	区分	対象設問数	配点	平均点		得点率(平均点/配点)	
				東大阪市	大阪府	東大阪市	大阪府
全体							
学習指導要領の領域	数と式	11	39	20.1	22.2	51.5	56.9
	図形	8	28	15.0	16.2	53.4	57.7
	関数	10	33	14.9	16.6	45.2	50.4

分類	区分	対象設問数	配点	平均点		得点率(平均点/配点)	
				東大阪市	大阪府	東大阪市	大阪府
全体							
学習指導要領の領域	「エネルギー」	—	—	—	—	—	—
	「粒子」	12	40	16.7	18.1	41.7	45.4
	「生命」	12	40	17.8	19.7	44.5	49.1
	「地球」	6	20	8.3	8.9	41.5	44.5

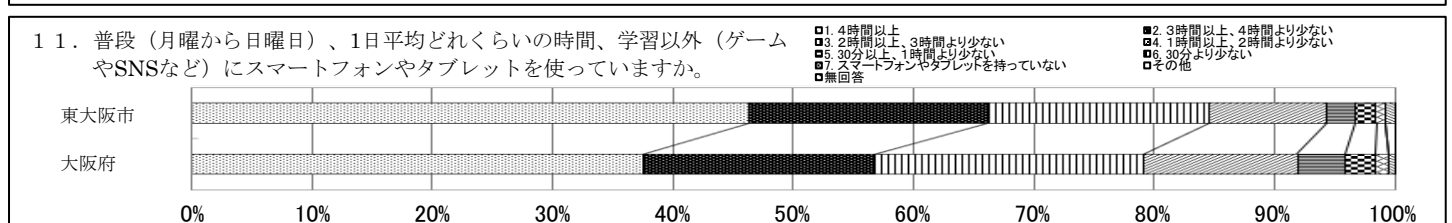
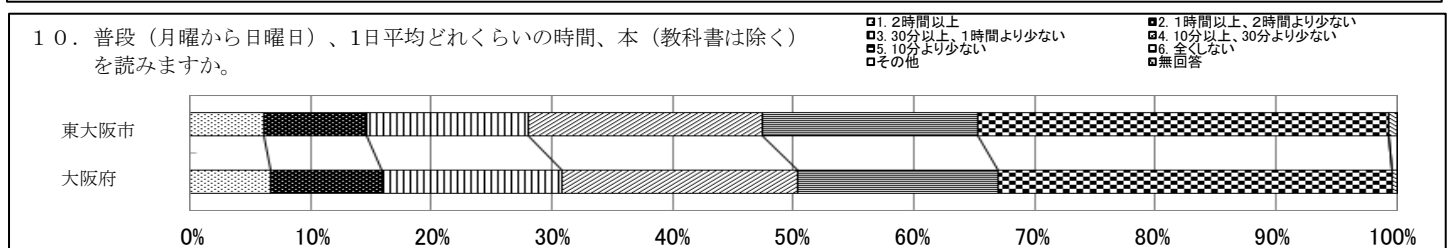
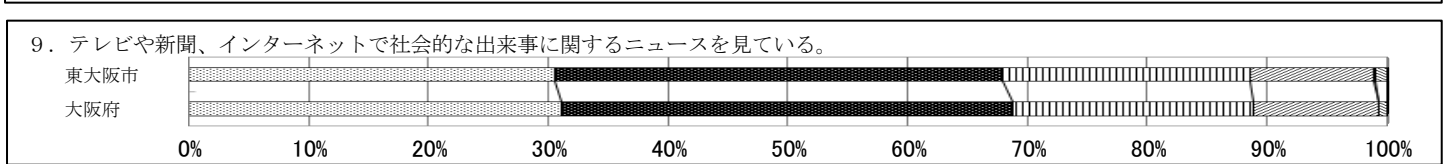
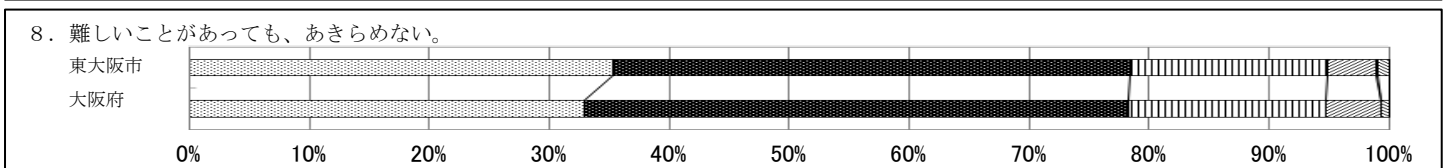
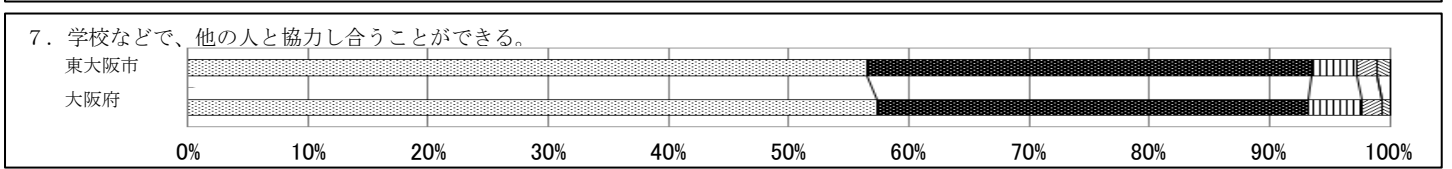
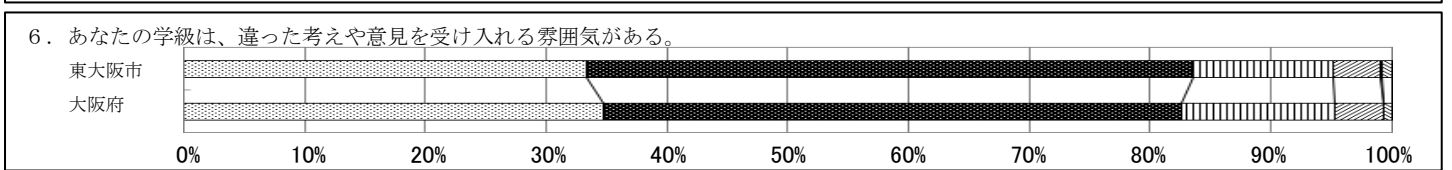
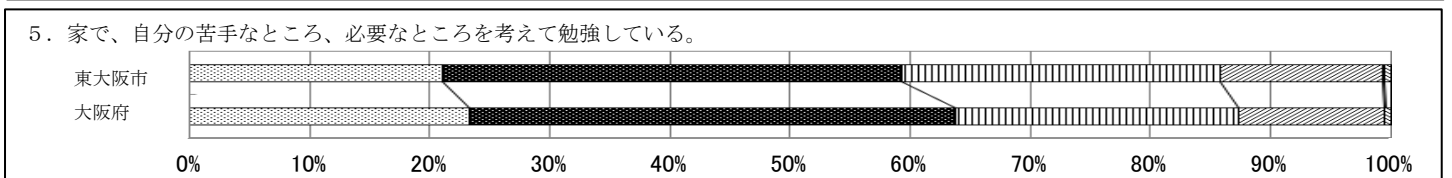
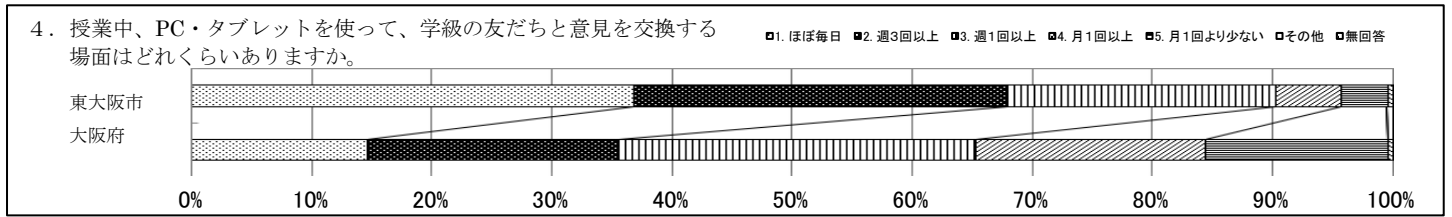
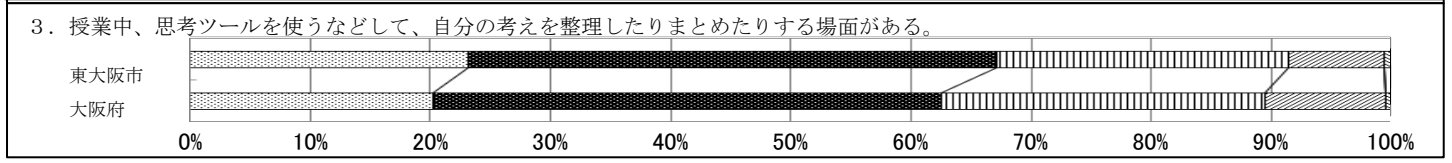
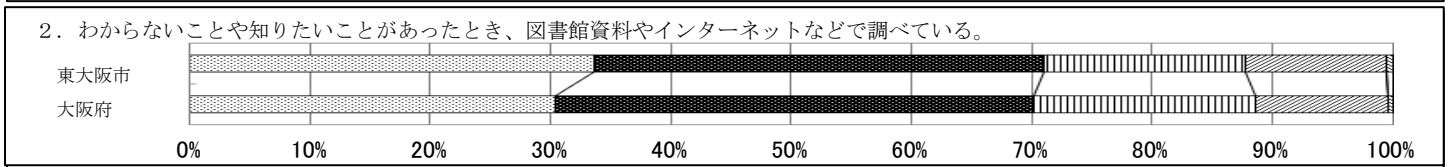
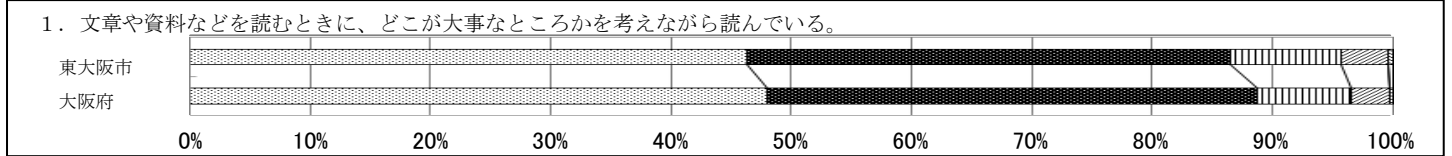
第2学年 英語 平均点【市】46.2点【府】51.8点



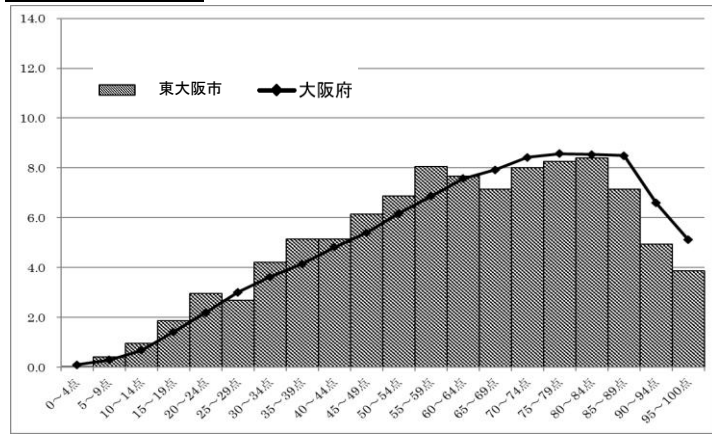
分類	区分	対象設問数	配点	平均点		得点率(平均点/配点)	
				東大阪市	大阪府	東大阪市	大阪府
全体							
学習指導要領の領域	聞くこと	12	28	16.7	18.4	59.8	65.7
	読むこと	10	28	11.9	13.4	42.6	47.7
	書くこと	15	44	17.5	20.0	39.8	45.6

<中学校2年生>

□1. 当てはまる □2. どちらかといえば、当てはまる □3. どちらかといえば、当てはまらない □4. 当てはまらない □その他 □無回答

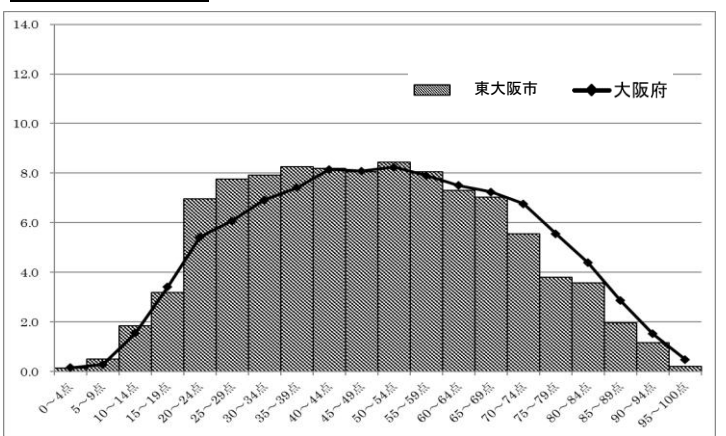


第3学年 国語 平均点【市】61.4点【府】64.2点



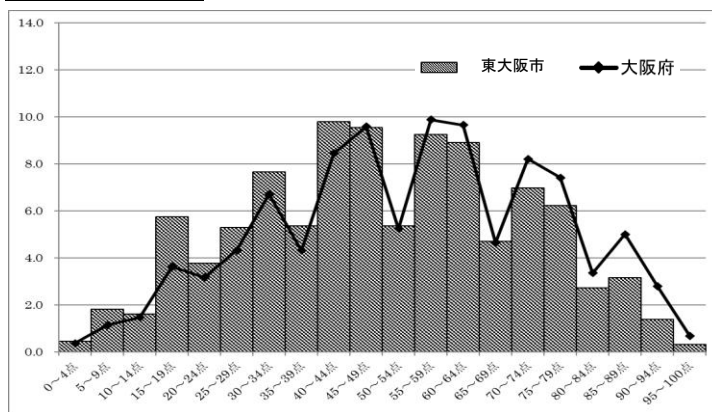
分類	区分	対象設問数	配点	平均点		得点率(平均点/配点)				
				東大阪市	大阪府	東大阪市	大阪府			
全体				32	100	61.4	64.2	—	—	
学習指導要領の内容	知識及び技能	言葉の特徴や使いに関する事項	8	18	14.8	15.2	82.0	84.3		
		情報の扱いに関する事項	3	13	6.0	6.4	46.3	49.5		
		我が国の言語文化に関する事項	8	25	12.9	13.7	51.6	54.6		
	思考力、判断力、表現力等	話すこと・聞くこと	7	24	13.9	14.6	57.9	60.8		
		書くこと	4	14	9.5	9.9	67.5	71.0		
		読むこと	9	31	16.2	17.2	52.4	55.4		

第3学年 社会 平均点【市】48.3点【府】51.2点



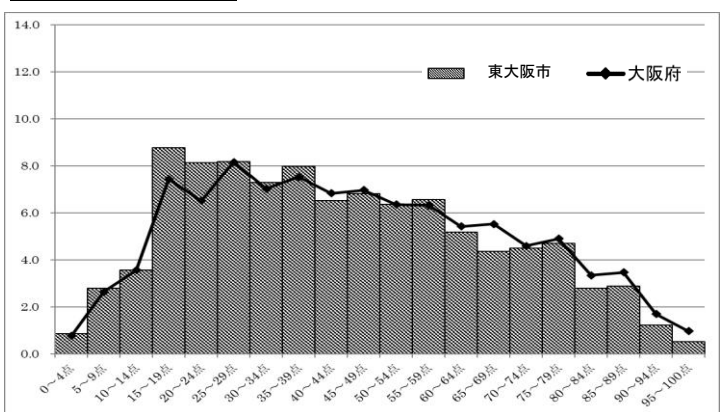
分類	区分	対象設問数	配点	平均点		得点率(平均点/配点)			
				東大阪市	大阪府	東大阪市	大阪府		
全体				39	100	48.3	51.2	—	—
学習指導要領の領域	地理的分野	21	55	26.6	28.4	48.3	51.6		
	歴史的分野	18	45	21.8	22.9	48.4	50.8		

第3学年 数学 平均点【市】49.7点【府】53.9点



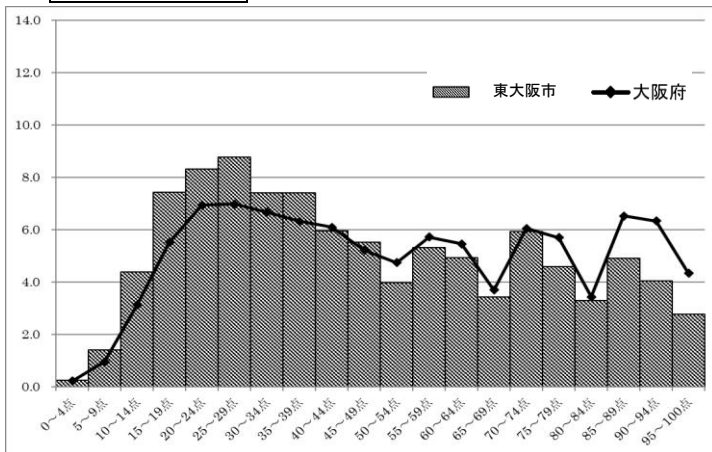
分類	区分	対象設問数	配点	平均点		得点率(平均点/配点)			
				東大阪市	大阪府	東大阪市	大阪府		
全体				33	100	49.7	53.9	—	—
学習指導要領の領域	数と式	9	28	15.1	16.0	54.0	57.2		
	図形	9	27	15.7	16.9	58.1	62.5		
	関数	9	27	10.4	11.7	38.7	43.5		
	データの活用	6	18	8.4	9.3	46.9	51.6		

第3学年 理科B 平均点【市】43.8点【府】46.0点



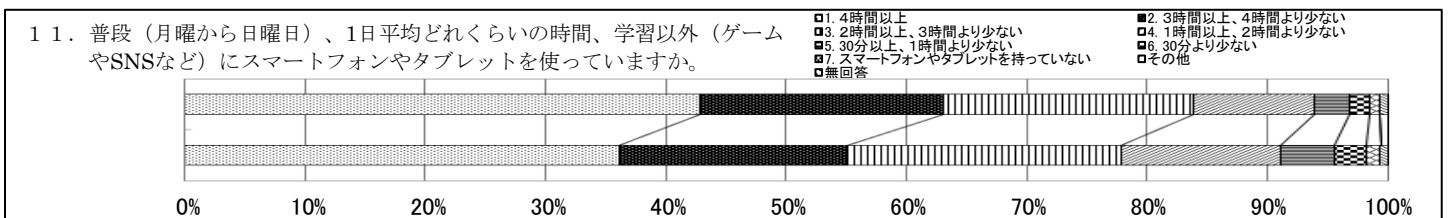
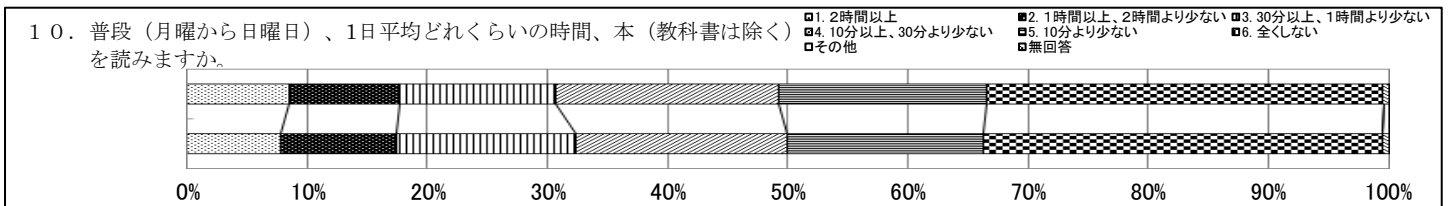
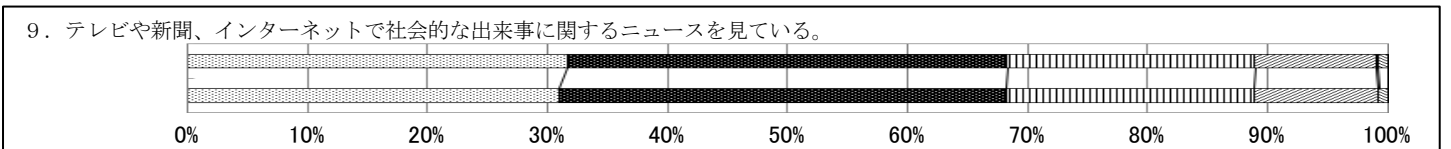
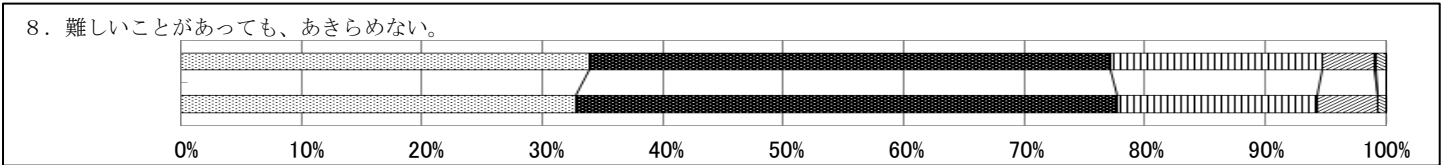
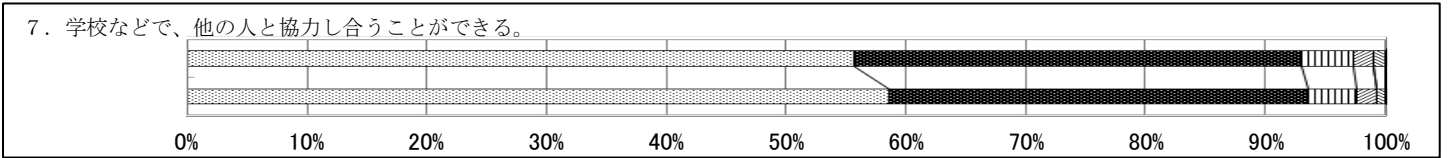
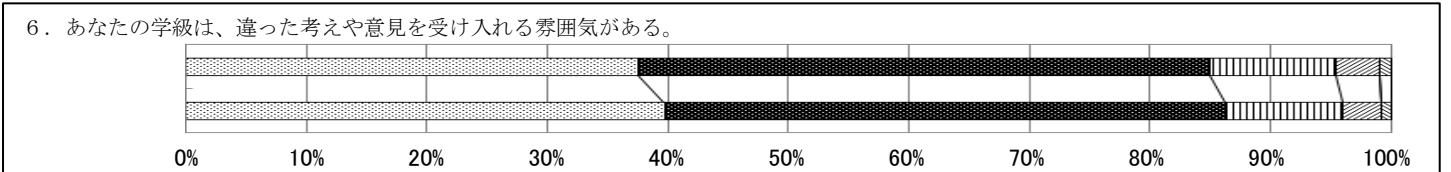
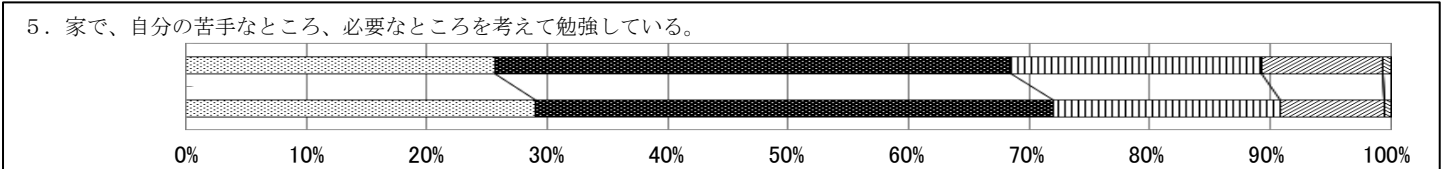
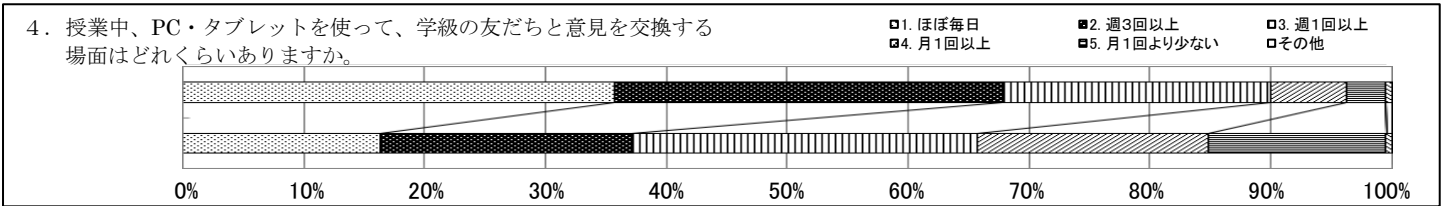
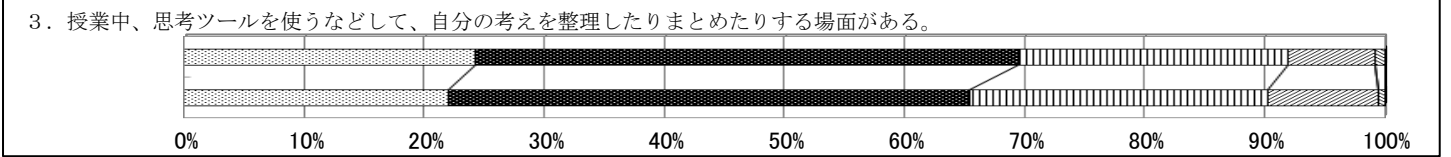
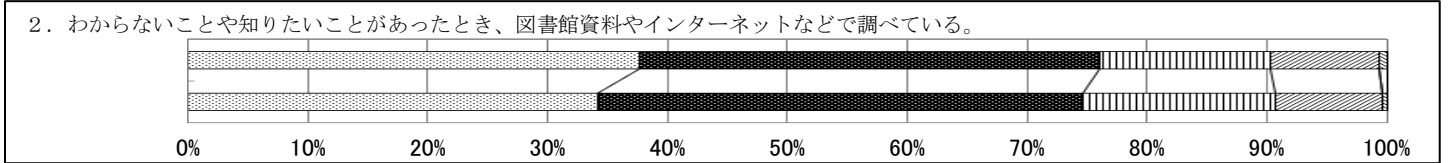
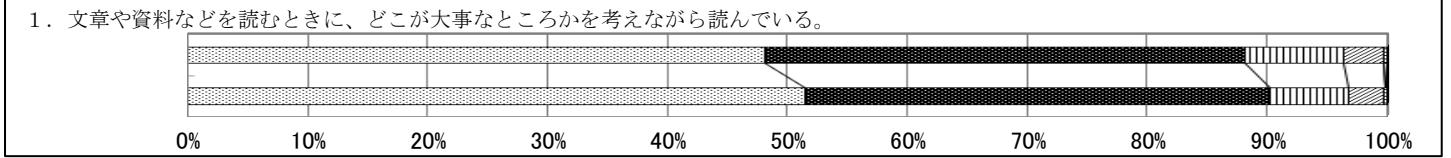
分類	区分	対象設問数	配点	平均点		得点率(平均点/配点)			
				東大阪市	大阪府	東大阪市	大阪府		
全体				30	100	43.8	46.0	—	—
学習指導要領の領域	「エネルギー」	6	20	7.9	8.1	39.3	40.5		
	「粒子」	6	20	6.8	7.3	33.8	36.5		
	「生命」	12	40	20.6	21.4	51.5	53.6		
	「地球」	6	20	8.6	9.2	43.1	45.9		

第3学年 英語 平均点【市】48.0点【府】53.2点



分類	区分	対象設問数	配点	平均点		得点率(平均点/配点)			
				東大阪市	大阪府	東大阪市	大阪府		
全体				35	100	48.0	53.2	—	—
学習指導要領の領域	聞くこと	10	26	14.7	15.8	56.6	61.0		
	読むこと	11	32	14.6	16.0	45.7	50.0		
	書くこと	14	42	18.6	21.4	44.3	50.8		

<中学校3年生> □1. 当てはまる ■2. どちらかといえば、当てはまる □3. どちらかといえば、当てはまらない □4. 当てはまらない □その他 □無回答



令和7年度 大阪府中学生チャレンジテスト概要

○調査目的（大阪府教育委員会作成の実施要領より）

- ① 大阪府教育委員会が、府内における生徒の学力を把握・分析することにより、大阪の生徒の課題の改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図る。加えて、テスト結果を活用し、大阪府公立高等学校入学者選抜における評定の公平性の担保に資する資料を作成し、市町村教育委員会及び学校に提供する。
- ② 市町村教育委員会や学校が、府内全体の状況との関係において、生徒の課題改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組みを通じて、学力向上のためのPDCAサイクルを確立する。
- ③ 学校が、生徒の学力を把握し、生徒への教育指導の改善を図る。
- ④ 生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力に目標を持ち、また、その向上への意欲を高める。

○調査概要

	1年生	2年生	3年生
実施日	令和8年1月14日(水)	令和8年1月14日(水)	令和7年9月2日(火)
実施教科	国語・数学・英語	国語・社会・数学・理科・英語	国語・社会・数学・理科・英語
調査実施 生徒数(本市)	【国語】 2,840人 【数学】 2,843人 【英語】 2,856人	【国語】 2,788人 【社会A】 2,330人 【社会B】 468人 【数学】 2,791人 【理科】 2,807人 【英語】 2,809人	【国語】 2,894人 【社会】 2,914人 【数学】 2,911人 【理科A】 446人 【理科B】 2,359人 【英語】 2,919人

○テスト結果の取扱いに関する配慮事項（大阪府教育委員会作成の実施要領より）

テストにより測定できるのは学力の特定の一部であること、学校における教育活動の一側面であることを踏まえるとともに、序列化や過度な競争が生じないようにするなど、十分配慮すること。

関連サイト

○令和7年度 大阪府 中学生チャレンジテスト —調査問題・正答(例)—

https://www.pref.osaka.lg.jp/0180080/r7_challenge_mondai.html

